

2018年3月期 決算説明資料

2018年4月26日
神奈川中央交通株式会社



一般旅客自動車運送事業

乗合業においては、前期より開始した神奈川中央交通東(株)における川崎市交通局井田営業所の業務受託や、前期に運行を開始した「平塚駅北口～ららぽーと湘南平塚循環線」などが通期寄与したことに加え、平成30年3月のイオンモール座間開業に伴い小田急相模原駅および南林間駅からの直行便を運行開始したことなどにより増収となりました。また、お客様がスムーズに乗降しやすいノンステップバスを183両導入するとともに、南町田駅北口ロータリーへの一部路線の乗り入れを開始したほか、「小山田桜台～唐木田駅東～多摩南部地域病院線」など新規路線の実証運行を開始するなど、利便性の向上を図りました。

貸切業においては、神奈中観光(株)にて、旅行会社との契約に伴う稼働車両数の増加により増収となりました。

乗用業においては、11月より車椅子でのご利用など乗り降りしやすいユニバーサルデザインの次世代型タクシー「JPN TAXI（ジャパntaxi）」の導入を開始し、利便性向上を図るとともに、8月にはスマートフォンアプリや音声自動受付（IVR）による無線配車サービスを開始するなど顧客獲得に努めましたが、乗務員不足による稼働減が影響し減収となりました。

以上の結果、一般旅客自動車運送事業全体の売上高は594億7千4百万円（前期比0.1%減）、営業利益は26億8千7百万円（前期比12.1%減）となりました。



3月に開業したイオンモール座間への乗り入れ開始



次世代型タクシー「JPN TAXI（ジャパntaxi）」

不動産事業

分譲業においては、横浜市戸塚区にて伊藤忠都市開発(株)と共同で行った新築分譲マンション「クレヴィア戸塚」を完売しました。また、伊勢原市にて小田急不動産(株)およびセコムホームライフ(株)と共同で行っている「リーフィアレジデンス伊勢原」の販売を進めるとともに、藤沢市羽鳥において大和ハウス工業(株)および(株)長谷工コーポレーションと総戸数914戸の大規模マンション共同事業「プレミスト湘南辻堂」の販売を12月より開始しました。しかしながら、従来より販売していた宅地分譲が前期で完売したことにより減収となりました。

賃貸業においては、前期に開業した賃貸施設「スーパーホテル戸塚駅東口」の賃貸収入が通期寄与したことに加え、積極的なテナントの誘致活動に伴い既存施設の稼働率が向上したことにより増収となりました。

以上の結果、不動産事業全体の売上高は59億2千5百万円（前期比3.5%減）となりましたが、前期に「相模原中央ビル」の大規模改修が終了し、修繕費が減少したことなどにより、営業利益は22億3千5百万円（前期比13.8%増）となりました。



新築分譲マンション「プレミスト湘南辻堂」完成予想図



新型トラック「スーパープレート」

自動車販売事業

自動車販売事業においては、神奈川三菱ふそう自動車販売(株)にて、大型バス「エアロスター」の販売が順調に推移しましたが、トラックの販売台数が伸び悩みました。また、輸入車販売では神奈中相模ヤナセ(株)にて、前期にモデルチェンジしたメルセデス・ベンツ「Eクラス」などの販売は順調に推移したものの、「Sクラス」「Cクラス」などが不振だったことに加え、中古車の販売台数も減少しました。

以上の結果、自動車販売事業全体の売上高は307億1千9百万円（前期比1.5%減）となりましたが、商用車販売において新型トラック「スーパープレート」の販売開始により粗利率が改善したことなどにより、営業利益は3億2千3百万円（前期比118.9%増）となりました。

その他の事業

流通業においては㈱神奈中商事にて、原油高の影響による燃料の販売単価の上昇に加え、取扱量が増加したことにより増収となりました。

資源活生業においては㈱アドベルにて、原油や金属など資源価格の上昇に伴いリサイクル品の販売単価が上昇したことに加え、大型商業施設における廃棄物収集運搬業務が通期寄与したことなどにより増収となりました。

飲食・娯楽業においては、新規業態のオムライス店「ラケルイーアス高尾店」を6月に、「ラケル横浜ノースポートモール店」を9月に開店いたしました。また、うどん店「うまげなららぼーと湘南平塚店」をはじめ、前期に開店した4店舗の収入が通期寄与したことにより、増収となりました。

総合ビルメンテナンス業においては横浜ビルシステム㈱にて、公共施設「大和市文化創造拠点シリウス」の指定管理者として受託した施設維持管理業務が通期寄与したことに加え、清掃管理業務の新規受注などにより増収となりました。

商用車架装業においては、新排出ガス規制対応前の駆け込み需要の反動減による自動車メーカーの生産台数の減少などにより、カブラ架装の受注が減少し減収となりました。

ホテル業においては、併設のレストランにおいてランチタイムにサラダbuffetを開始するなど、サービスの向上を図り顧客獲得に努めましたが、訪日外国人団体旅行者をはじめ宿泊客が減少したことなどにより減収となりました。

以上の結果、その他の事業全体の売上高は302億9千7百万円（前期比0.3%減）、営業利益は14億9千8百万円（前期比15.1%減）となりました。



「ラケルイーアス高尾店」

連結損益計算書 (1)

単位:百万円

| | 2018年3月期 | 2017年3月期 | 増減 | 摘要 | 2018年3月期 業績予想 (2017年4月公表値) | 増減 |
|---------------------|----------|----------|---------------------|--|----------------------------------|---------------------|
| 売上高 | 113,763 | 115,525 | △ 1,762 (△ 1.5%) | 自動車販売事業 △455 不動産事業 △217、セグメント間消去等 △921 | 115,600 | △ 1,836 (△ 1.6%) |
| 営業利益 | 6,481 | 6,810 | △ 328 (△ 4.8%) | 一般旅客自動車運送事業 △371 | 6,850 | △ 368 (△ 5.4%) |
| 経常利益 | 6,476 | 6,713 | △ 236 (△ 3.5%) | 営業外費用 △60 | 6,740 | △ 263 (△ 3.9%) |
| 特別利益 | 807 | 566 | 241 (42.6%) | 補助金収入 +282 | 740 | 67 (9.2%) |
| 特別損失 | 742 | 1,196 | △ 454 (△ 38.0%) | 固定資産除却損 △285、土壤改良費用 △259 減損損失 △204、固定資産圧縮損 +296 | 980 | △ 237 (△ 24.3%) |
| 親会社株主に帰属 する当期純利益 | 4,236 | 3,977 | 258 (6.5%) | | 4,120 | 116 (2.8%) |
| 1株当たり 当期純利益 | 343.51円 | 322.49円 | 21.02円 | | 334.06円 | 9.45円 |

| | | | | |
|--------|--------|--------|---------|-------------|
| 減価償却費 | 6,355 | 5,834 | 520 | |
| EBITDA | 12,836 | 12,644 | 192 | ※営業利益+減価償却費 |
| 資本的支出 | 7,479 | 8,961 | △ 1,482 | |

当社は、2017年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり当期純利益を算定しております。

売上高

自動車販売事業は、輸入車販売において前期にモデルチェンジした新車の販売は順調に推移したものの、中古車の販売台数が減少し減収。

不動産事業は、新築分譲マンション「リーフィアレジデンス伊勢原」の販売があったものの、前期に「クレヴィア戸塚」の販売や宅地・戸建分譲があったことから減収。

営業利益

一般旅客自動車運送事業において営業用車両の代替による減価償却費の増加や、原油高の影響による燃料費の増加などにより減益。

経常利益

営業利益の減少により減益。

特別利益

| | | | |
|---|---------|--------|------------|
| 1 | 固定資産売却益 | 236百万円 | 車両売却益等 |
| 2 | 補助金 | 520百万円 | 乗合バス購入補助金等 |

特別損失

| | | | |
|---|---------|--------|--------------------------|
| 1 | 固定資産除却損 | 121百万円 | 乗用業における配車センター設備代替に伴う除却損等 |
| 2 | 固定資産圧縮損 | 518百万円 | 補助金による圧縮損 |

連結貸借対照表

単位：百万円

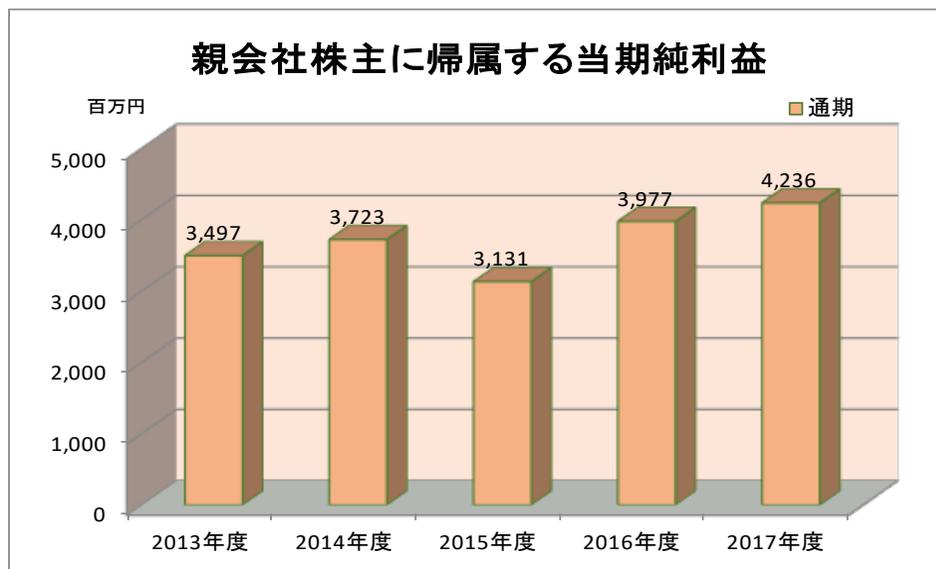
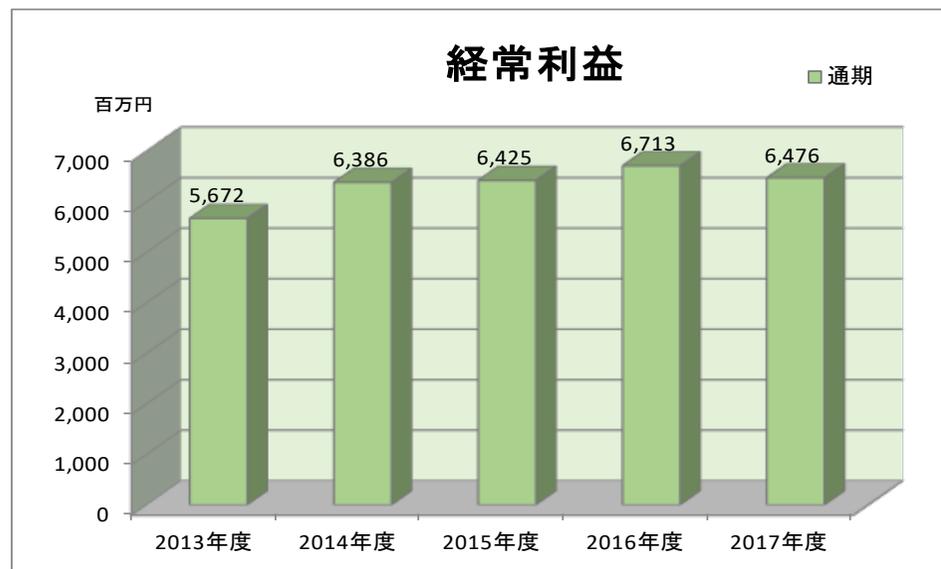
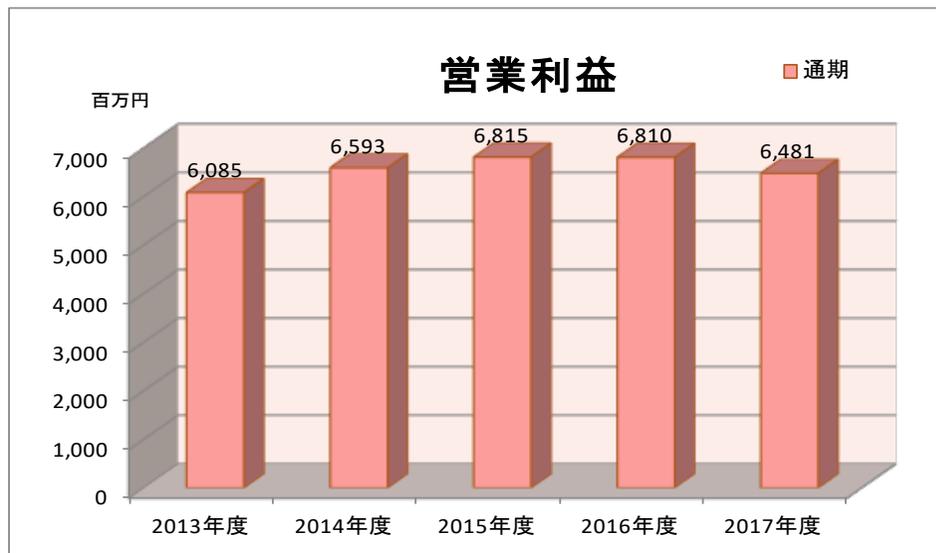
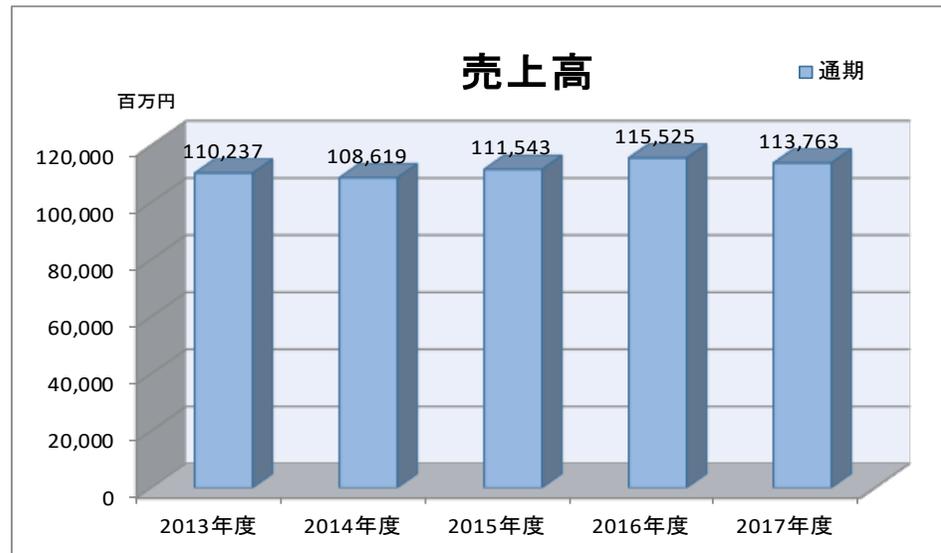
| | 2018年3月期 | 2017年3月期 | 増減 | 摘要 |
|---------|----------|----------|---------------------|----------------------------------|
| 流動資産 | 22,932 | 22,461 | 470 (2.1%) | 商品及び製品 +627 受取手形及び売掛金 △304 |
| 固定資産 | 127,212 | 126,496 | 716 (0.6%) | 投資有価証券 +713 |
| 資産合計 | 150,145 | 148,957 | 1,187 (0.8%) | |
| 流動負債 | 42,042 | 42,166 | △ 123 (△ 0.3%) | 支払手形及び買掛金 △1,279 その他流動負債 +964 |
| 固定負債 | 52,336 | 55,755 | △ 3,418 (△ 6.1%) | 長期借入金 △2,881 長期預り保証金 △427 |
| 負債合計 | 94,378 | 97,921 | △ 3,542 (△ 3.6%) | |
| 純資産合計 | 55,766 | 51,036 | 4,730 (9.3%) | 利益剰余金 +3,804 |
| 負債純資産合計 | 150,145 | 148,957 | 1,187 (0.8%) | |

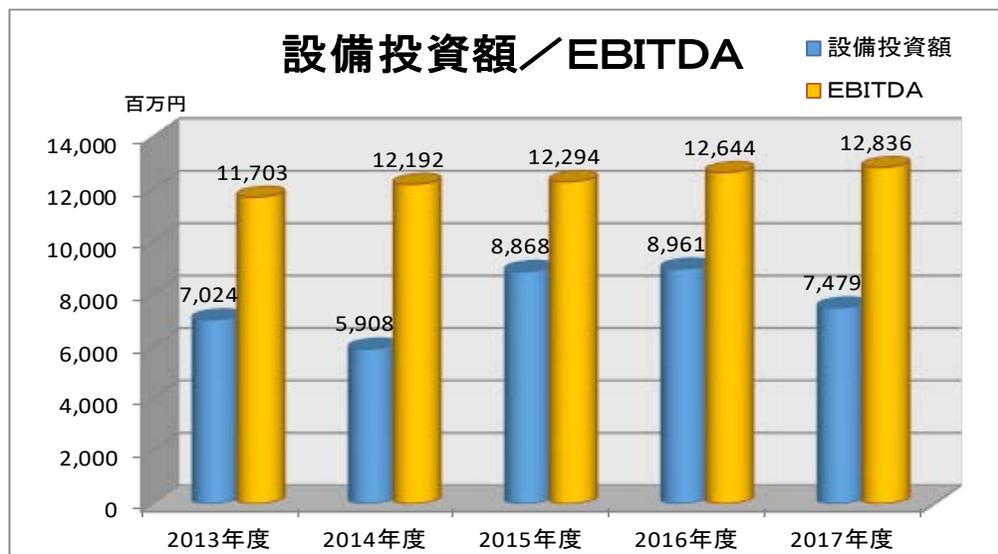
| | | | | |
|-----------|-----------|-----------|---------|--|
| 1株当たり純資産額 | 4,178.53円 | 3,815.12円 | 363.41円 | |
| 自己資本比率 | 34.3% | 31.6% | 2.7P | |
| 有利子負債残高 | 50,480 | 52,999 | △ 2,518 | |

当社は、2017年10月1日付で普通株式5株につき1株の割合で株式併合を実施したため、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり純資産額を算定しております。

単位：百万円

| | 2018年3月期 | 2017年3月期 | 増減 | 摘要 |
|----------------|----------|----------|-------------------------|---------------------|
| 営業キャッシュ・フロー | 9,970 | 7,894 | 2,076 (26.3%) | たな卸資産の増減額 +1,561 |
| 投資キャッシュ・フロー | △ 5,979 | △ 7,776 | 1,796 (23.1%) | 固定資産の取得による支出 +1,894 |
| 財務キャッシュ・フロー | △ 3,813 | 57 | △ 3,870 (△ 6,703.7%) | 社債の発行による収入 △4,968 |
| 現金及び現金同等物の増減額 | 177 | 175 | 2 (1.2%) | |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 2,468 | 2,290 | 177 (7.8%) | |





| | |
|----------|-----------------------------|
| 神奈中グループ | 子会社 25社、関連会社 3社 |
| うち 連結子会社 | 25社 |
| 持分法適用会社 | 2社 (大山観光電鉄(株)、(株)小田急保険サービス) |

《主な連結会社》

【一般旅客自動車運送事業】

神奈川中央交通(株)、相模中央交通(株)、神奈中ハイヤー(株)、神奈中観光(株)

【不動産事業】

神奈川中央交通(株)、相模中央交通(株)、神中興業(株)

【自動車販売事業】

神奈川三菱ふそう自動車販売(株)、神奈中相模ヤナセ(株)

【その他の事業】

神奈川中央交通(株)、(株)神奈中商事、(株)神奈中スポーツデザイン、
(株)アドベル、(株)神奈中情報システム、横浜ビルシステム(株)

単位：百万円

| | 2018年3月期 | 2017年3月期 | 増減 | 摘要 | 2018年3月期 業績予想 (2017年4月公表値) | 増減 |
|-------|----------|----------|--------------------|---------------------------------|----------------------------------|-------------------|
| 売上高 | 59,474 | 59,559 | △ 85 (△ 0.1%) | 乗合業 +454 貸切業 +84 乗用業 △624 | 60,400 | △ 925 (△ 1.5%) |
| 営業利益 | 2,687 | 3,059 | △ 371 (△ 12.1%) | 乗合業 △162 貸切業 △43 乗用業 △165 | 2,910 | △ 222 (△ 7.6%) |
| 資産 | 59,355 | 58,227 | 1,127 | | | |
| 減価償却費 | 4,522 | 4,010 | 511 | | | |
| 減損損失 | 2 | 3 | △ 0 | | | |
| 資本的支出 | 6,337 | 6,943 | △ 605 | | | |

【対前年】

売上高は、乗合業における川崎市交通局井田営業所の業務受託の通期寄与や、貸切業における旅行会社との契約車両数の増加があったものの、乗用業において乗務員不足により稼働が減少したことなどにより減収。

営業利益は、営業用車両の代替による減価償却費や原油高の影響により燃料費が増加したことなどにより減益。

※参考 乗合業輸送人員

単位：百万人

| | 2018年3月期 | 2017年3月期 | 増減率 | 摘要 |
|-----|----------|----------|--------|----|
| 定期外 | 181 | 182 | △ 0.6% | |
| 定期 | 64 | 63 | 1.7% | |
| 合計 | 245 | 245 | 0.0% | |

単位：百万円

| | 2018年3月期 | 2017年3月期 | 増減 | 摘要 | 2018年3月期 業績予想 (2017年4月公表値) | 増減 |
|-------|----------|----------|-------------------|---------------------|----------------------------------|----------------------|
| 売上高 | 5,925 | 6,142 | △ 217 (△ 3.5%) | 分譲業 △272 賃貸業 +55 | 6,990 | △ 1,064 (△ 15.2%) |
| 営業利益 | 2,235 | 1,964 | 271 (13.8%) | 分譲業 △91 賃貸業 +362 | 2,100 | 135 (6.5%) |
| 資産 | 42,615 | 42,890 | △ 274 | | | |
| 減価償却費 | 971 | 991 | △ 20 | | | |
| 減損損失 | 21 | - | 21 | | | |
| 資本的支出 | 216 | 496 | △ 280 | | | |

【対前年】

分譲業においては、新築分譲マンション「リーフィアレジデンス伊勢原」の販売があったものの、前期に「クレヴィア戸塚」の販売や宅地・戸建分譲があったことから減収減益。

賃貸業においては、昨年7月に開業した「スーパーホテル戸塚駅東口」が通期寄与したことや、前期に「相模原中央ビル」の大規模改修が終了し、修繕費が減少したことなどにより増収増益。

単位：百万円

| | 2018年3月期 | 2017年3月期 | 増減 | 摘要 | 2018年3月期 業績予想 (2017年4月公表値) | 増減 |
|-------|----------|----------|-------------------|-------------------------|----------------------------------|---------------------|
| 売上高 | 30,719 | 31,174 | △ 455 (△ 1.5%) | 商用車販売 △44 輸入車販売 △410 | 32,170 | △ 1,450 (△ 4.5%) |
| 営業利益 | 323 | 147 | 176 (118.9%) | 商用車販売 +263 輸入車販売 △87 | 370 | △ 46 (△ 12.6%) |
| 資産 | 16,823 | 17,380 | △ 557 | | | |
| 減価償却費 | 314 | 289 | 24 | | | |
| 減損損失 | - | - | - | | | |
| 資本的支出 | 527 | 1,168 | △ 641 | | | |

【対前年】

商用車販売において、トラックの販売台数が減少し減収となったものの、粗利率が改善したことなどにより増益。
輸入車販売においては、前期にモデルチェンジした新車の販売は順調に推移したものの、中古車の販売台数が減少し減収減益。

※参考 新車販売台数

単位：台

| | 2018年3月期 | 2017年3月期 | 増減 |
|------|----------|----------|-------|
| トラック | 1,957 | 2,244 | △ 287 |
| バス | 263 | 258 | 5 |
| 輸入車 | 531 | 566 | △ 35 |

単位：百万円

| | 2018年3月期 | 2017年3月期 | 増減 | 摘要 | 2018年3月期 業績予想 (2017年4月公表値) | 増減 |
|-------|----------|----------|--------------------|-------------------------|----------------------------------|-------------------|
| 売上高 | 30,297 | 30,379 | △ 82 (△ 0.3%) | 商用車架装業 △280 流通業 +167 | 30,630 | △ 332 (△ 1.1%) |
| 営業利益 | 1,498 | 1,765 | △ 267 (△ 15.1%) | 商用車架装業 △104 流通業 △62 | 1,610 | △ 111 (△ 6.9%) |
| 資産 | 33,014 | 32,183 | 831 | | | |
| 減価償却費 | 547 | 542 | 5 | | | |
| 減損損失 | 47 | 272 | △ 225 | | | |
| 資本的支出 | 601 | 571 | 30 | | | |

【対前年】

流通業において原油高の影響による燃料の販売単価の上昇に加え、取扱量が増加したものの、商用車架装業においてカプラ架装の受注が減少し減収減益。

2019年3月期の業績予想

単位：百万円

| | 2019年3月期 業績予想 | 2018年3月期 | 増減 | 摘要 |
|---------------------|------------------|----------|--------------------|----|
| 売上高 | 116,200 | 113,763 | 2,436 (2.1%) | |
| 営業利益 | 5,990 | 6,481 | △ 491 (△ 7.6%) | |
| 経常利益 | 5,920 | 6,476 | △ 556 (△ 8.6%) | |
| 特別利益 | 240 | 807 | △ 567 (△ 70.3%) | |
| 特別損失 | 600 | 742 | △ 142 (△ 19.2%) | |
| 親会社株主に帰属する 当期純利益 | 3,540 | 4,236 | △ 696 (△ 16.4%) | |
| 1株当たり 当期純利益 | 287.05円 | 343.51円 | △ 56.46円 | |

| | | | | |
|-------|--------|-------|-------|--|
| 減価償却費 | 6,680 | 6,355 | 324 | |
| 資本的支出 | 15,610 | 7,479 | 8,130 | |

【対前年】

不動産事業におけるマンション分譲の増収および自動車販売事業における商用車販売のトラック販売台数増加などによる増収を織り込むものの、一般旅客自動車運送事業において営業用車両の代替による減価償却費や燃料費の増加などにより減益。

セグメント別業績予想（一般旅客自動車運送事業）

単位：百万円

| | 2019年3月期 業績予想 | 2018年3月期 | 増減 | 摘要 |
|-------|------------------|----------|--------------------|----|
| 売上高 | 60,010 | 59,474 | 535 (0.9%) | |
| 営業利益 | 2,250 | 2,687 | △ 437 (△ 16.3%) | |
| 減価償却費 | 4,790 | 4,522 | 267 | |
| 資本的支出 | 10,600 | 6,337 | 4,262 | |

【対前年】

売上高は、乗用業における稼働の増加などにより増収。

営業利益は、営業用車両の代替による減価償却費や燃料費の増加などにより減益。

※参考 乗合業輸送人員計画

単位：百万人

| | 2019年3月期 業績予想 | 2018年3月期 | 増減率 | 摘要 |
|-----|------------------|----------|---------|----|
| 定期外 | 181 | 181 | △ 0.2 % | |
| 定期 | 65 | 64 | 1.0 % | |
| 合計 | 246 | 245 | 0.1 % | |

セグメント別業績予想（不動産事業）

単位：百万円

| | 2019年3月期 業績予想 | 2018年3月期 | 増減 | 摘要 |
|-------|------------------|----------|------------------|----|
| 売上高 | 8,140 | 5,925 | 2,214 (37.4%) | |
| 営業利益 | 2,530 | 2,235 | 294 (13.2%) | |
| 減価償却費 | 970 | 971 | △ 1 | |
| 資本的支出 | 1,310 | 216 | 1,093 | |

【対前年】

分譲業において、マンション分譲「プレミスト湘南辻堂」および戸建分譲の実施などにより増収増益。

セグメント別業績予想（自動車販売事業）

単位：百万円

| | 2019年3月期 業績予想 | 2018年3月期 | 増減 | 摘要 |
|-------|------------------|----------|-----------------|----|
| 売上高 | 31,600 | 30,719 | 880 (2.9%) | |
| 営業利益 | 320 | 323 | △ 3 (△ 1.0%) | |
| 減価償却費 | 290 | 314 | △ 24 | |
| 資本的支出 | 950 | 527 | 422 | |

【対前年】

商用車販売は、トラックの販売台数増加による増収を織り込むものの、車両整備や部品販売の減少により減益。
輸入車販売は、新車販売台数の増加を織り込み増収増益。

※参考 新車販売台数

単位：台

| | 2019年3月期 業績予想 | 2018年3月期 | 増減 |
|------|------------------|----------|-----|
| トラック | 2,346 | 1,957 | 389 |
| バス | 254 | 263 | △ 9 |
| 輸入車 | 556 | 531 | 25 |

セグメント別業績予想（その他の事業）

単位：百万円

| | 2019年3月期 業績予想 | 2018年3月期 | 増減 | 摘要 |
|-------|------------------|----------|--------------------|----|
| 売上高 | 30,830 | 30,297 | 532 (1.8%) | |
| 営業利益 | 1,300 | 1,498 | △ 198 (△ 13.2%) | |
| 減価償却費 | 610 | 547 | 62 | |
| 資本的支出 | 3,110 | 601 | 2,508 | |

【対前年】

売上高は、商用車架装業における架装台数の減少などを織り込むものの、流通業における路線バスの車載器の販売増や、燃料販売単価の上昇などにより増収。

営業利益は、商用車架装業の減収の影響などにより減益。

(参考) 個別業績予想

単位:百万円

| | 2019年3月期 業績予想 | 2018年3月期 | 増減 | 摘要 |
|----------------|------------------|----------|--------------------|----|
| 売上高 | 55,500 | 53,583 | 1,916 (3.6%) | |
| 営業利益 | 3,610 | 4,003 | △ 393 (△ 9.8%) | |
| 経常利益 | 3,760 | 4,142 | △ 382 (△ 9.2%) | |
| 特別利益 | 240 | 740 | △ 500 (△ 67.6%) | |
| 特別損失 | 370 | 649 | △ 279 (△ 43.1%) | |
| 当期純利益 | 2,560 | 2,963 | △ 403 (△ 13.6%) | |
| 1株当たり 当期純利益 | 207.62円 | 240.33円 | △ 32.71円 | |

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

【問い合わせ先】

神奈川中央交通株式会社

総務部

TEL 0463-22-8800